

備前市施策評価シート

(平成21年度事業)

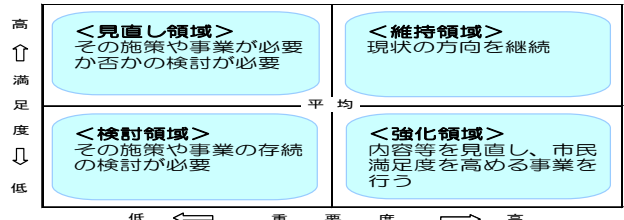
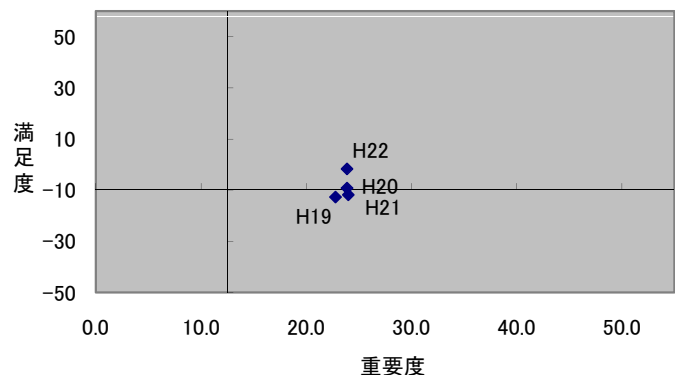
施策名 (小項目)	母子保健(歯科保健含む)	コード	作成者	役職	保健課長
		02-02-01		氏名	有吉隆之
				電話	64-1819
				このシート作成に要した時間	3.0 時間

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	基本施策(中項目)	健やかで生き生きしたまちづくり
① 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が安心して子どもを産み育てるようにする。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	少子化傾向が強まる中、公衆衛生の向上や医療技術の進歩により、多くの病気を治せるようになってきた。しかし、家庭や地域における子育て機能の低下、児童虐待の増加、肥満に関連した生活習慣病の出現など新たな問題も発生している。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 一貫した母子保健の推進(母子手帳交付、育児相談事業、妊婦及び乳幼児の健康診査、乳児全戸訪問など) 感染症予防(予防接種) 生活習慣病予防(食育) 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	22.8	23.9	24.0	23.9
満足度(%)	-12.7	-9.2	-11.8	-1.7



調査結果に対するコメント、市民の反応等	安心して子育てができる環境を多くの市民が望んでいる。住みよいまちとは、家庭や地域に教育力があるところと多くの市民が認識している。しかしながら、「安心して子どもを産み育てることができると感じている市民の割合」は、H20年12.1%、H21年12.4%、H22年17.4%と低い数値となっている。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H19	H20	H21		H22	H28
成果指標 乳幼児健診受診率	目標	%	90.0	90.0	90.0	H22	90.0
	実績	%	81.7	82.7	84.8	H23	95.0
	達成率	%	90.8	91.9	94.2	H28	95.0
	ベンチマーク		85.2	85.7	岡山県の受診率	-	-
参考指標① 3歳児検診時麻疹接種率	目標	%	95.0	95.0	95.0	H22	95.0
	実績	%	97.1	96.8	98.0	H23	95.0
	達成率	%	102.2	101.9	103.2	H28	95.0
	ベンチマーク		93.8	95.0	岡山県の3歳児麻疹接種率	-	-
参考指標② 3歳児肥満率	目標	%	2.0	2.0	2.0	H22	2.0
	実績	%	7.1	5.9	5.0	H23	2.0
	達成率	%	355.0	295.0	250.0	H28	2.0
	ベンチマーク		5.9	5.4	岡山県の3歳児肥満率	-	-
参考指標③ 3歳児朝食欠食率	目標	%	10.0	10.0	10.0	H22	10.0
	実績	%	10.5	6.4	7.5	H23	10.0
	達成率	%	105.0	64.0	75.0	H28	10.0
	ベンチマーク		-	-	-	-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への貢献度 ☆☆☆☆~☆	経費の性質 義務的 経常的 その他		
				平成19年度			平成20年度			平成21年度						
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数				
1 乳幼児等健康診査事業	B	健康被害予防事業	補助	1,001	2,569	0.45	1,158	2,924	0.52	1,132	2,982	0.48	☆☆☆	その他		
		1歳6ヶ月児健康診査事業	法定	712	2,122	0.40	636	1,521	0.30	640	1,581	0.25	☆☆☆☆	その他		
		2歳児歯科健康診査事業	単市	452	1,844	0.35	375	1,148	0.24	346	1,283	0.20	☆☆☆	その他		
		3歳児健康診査事業	法定	1,019	2,398	0.44	1,006	1,802	0.34	991	1,878	0.29	☆☆☆☆	その他		
2 母子相談事業		妊婦乳児健康診査事業	法定	7,722	1,164	0.16	11,818	10,247	2.37	20,200	12,780	2.02	☆☆☆☆	その他		
		育児総合相談窓口設置事業	単市	112	4,639	0.97									H19終了	
		母親・両親学級事業	単市	4	574	0.10									H19終了	
3 マザースクール事業	B	幼児クラブ事業	単市	5	894	0.15									H19終了	
		マザースクール事業	補助	4,557	2,362	0.39	2,657	1,431	0.22	2,653	1,632	0.26	☆☆☆☆	その他		
4 予防接種事業	B	予防接種一類	法定	19,009	1,457	0.22									H19終了	
		予防接種二類	法定	17,852	891	0.14										H19終了
		予防接種事業	法定				45,205	1,576	0.31	47,802	3,038	0.45	☆☆☆☆	その他		
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成19年度			平成20年度			平成21年度						
				52,445	20,914	3.77	62,855	20,649	4.30	73,764	25,174	3.95				

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
保育園	乳幼児健康診査事業・予防接種事業	要観察児のフォロー
幼稚園	乳幼児健康診査事業・予防接種事業	要観察児のフォロー
中央公民館	ブックスタート事業	4ヶ月健診時に読み聞かせ

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
<成果指標の妥当性> 1 施策の目的・成果を表現しているか?	4	妊娠期から就学前までの各期に応じて事業を実施しているが、健診受診率は一番の基礎となる指標である。	
<事業構成の妥当性> 2 手段は最適か?	4	妊娠期から就学前までの各期に応じた事業構成としている。	
<施策の有効性> 3 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	乳幼児期の健康サポート体制は、利用しやすさを基準に企画している。	
本年度(H22年度)取組内容(課題解決状況)		○国庫補助制度の変更に伴う妊婦乳児健康診査の公費負担の検討 ○マザースクール事業のあり方、体制について関係者で協議し、連携を図る。 ○子宮頸がんワクチン等任意接種となっているものについて、公費負担を検討するとともに定期接種となっているものについて広報等を通じ勧奨していく。	
翌年度(H23年度)取組目標		○子宮頸がんワクチン等任意接種となっているものについて、公費負担を検討するとともに定期接種となっているものについて広報等を通じ勧奨していく。 ○マザースクール事業について関係者と連携を図る。	
二次評価者コメント	保健福祉部長 井上 純子	母子保健事業は市民が行政サービスを受けるスタートになるもので、信頼関係を築く大切な事業である。少子化のなか集団から個別へ事業内容は移行する傾向にあるが、母子手帳交付の際等の面接機会を大切にして、市民が利用しやすい相談窓口を今後も目指していく。	
		基本施策への貢献度 4 やや高い	